



SPICA Whisky List



SPICAには王道スコッチからシングルモルト、珍しいボトラーズまで幅広くウイスキーを取り揃えています。ロックやストレート、ハイボールなどお好きな飲み方でお楽しみ下さい。

世界5大ウイスキー



Scotch Whisky

スコッチウイスキー

【名実ともにウイスキーの代名詞】

スコッチは5大ウイスキーの中でも突出した存在。

その存在感は、スコットランドの風土がウイスキー造りに適していた事、さらに蒸留所ごとの個性を育む多様な自然環境があったことによるところが大きい。面積でいえば北海道より少し小さいくらいしかないこの地で、ウイスキーの全消費量の6割近くを占めるスコッチを作っている。

スコットランド



Scotch

~Single malt~

Speyside ザ・マッカラン12年 ~シェリーオーク~
THE MACALLAN 12y ~Sherry oak~

¥1,600



スコットランドのハイランド地方、その東部に位置するスペイサイド。ウイスキーづくりに最も適したこの土地で、ザ・マッカランはシェリー樽が生み出す独特の風味と色合いを誇るウイスキーをつくりつづけています。華やかさと上品で濃厚な味わいが特長のシングルモルトウイスキーとして、ザ・マッカランは長年ファンの心をつかんできました。ハイランド地方で2番目に蒸溜ライセンスを与えられた老舗ブランドは、今もその芳醇な味わいで世界中を魅了しています。

ザ・マッカラン『シェリーオーク』は、ザ・マッカランを象徴する華やかでラグジュアリーな味わいが特長のシェリーオークシリーズ。自社で原木の選定から製樽まで、徹底管理してつくられたシェリー樽で熟成された原酒のみを使用した、贅沢な逸品。

【味わい】 バニラにほのかなジンジャー、シェリーの甘い香りにドライフルーツの甘いコクが絶妙に混ざり合っている。

Speyside ダルユーイン 16年 (UD社 花と動物シリーズ)
Dailuaine 16y

¥1,800



ダルユーインはオフィシャルでのボトルリリースがないため有名なウイスキーではないですが、ブレンデッドウイスキー「ジョニー・ウォーカー」のキーモルトとして知られています。ダルユーイン蒸溜所はスペイサイド地方のキャロン村、ベンリネス山とスペイ川に挟まれた場所にあります。

元々は鉄道がなかった地域でしたが、スペイ川の対岸にストラススペイ鉄道が開通。自分の敷地内に引き込み線を引くことで鉄道を利用できるようにしました。

さらに自前で蒸気機関車を用意しウイスキーや原料の輸送を行うことで効率よく運営を回し軌道に乗せたと言われています。

～花と動物シリーズ～UD社(ユナイテッド・ディスティラリーズー現ディアジオ社)が所有する蒸溜所のシングルモルトウイスキーを蒸溜所にちなむ花と動物を描いたラベルでリリースしたのがUD社の花と動物シリーズです。

この花と動物シリーズでリリースされた蒸溜所のモルト原酒は、ほとんどがブレンデッド用として作られているものなので、オフィシャルでシングルモルトリリースが殆どないものやそもそも無いというシングルモルトとしては希少なものになります。ラベルに描かれているのはアナグマです。

【味わい】 シェリー感とコニャックのような甘く若干酸味のある香り。オーク、穀物の甘い香り。シェリー樽の特徴がしっかりと感じられる味わいで、甘味とナッツそしてかすかにスモークも感じられる味わいが特徴。

Speyside ベンリネス 15年 (UD社 花と動物シリーズ)
Benrinnes 15y

¥1,600



蒸溜所にちなむ花と動物をラベルに冠したUD社「花と動物」シリーズ。

ベンリネスとはスペイサイドで最も高い山の名前で、蒸溜所は山の北麓、標高213メートルのところにある。同蒸溜所のユニークなところはウォッシュの一部を3回蒸留するところ。大半は2回蒸留だが、それに3回蒸留を施したものを加えることによって、よりライトなモルトができるという。

ラベルに描かれているのはベンリネス山の周辺に多い黒ライチョウ。

【味わい】 ややスモーキー、焦がしたタフィー、フローラル、シェリー香。丸みを帯びたボディ、アニスやバニラの良い甘さが特徴でスパイス感のある香りや蜂蜜のような濃密さバニラ感そして徐々にスパイシーさを感じる。

Scotch

~Single malt~

Speyside

グレンフィディック12年
Glenfiddich 12y

¥1,000



ゲール語で「鹿の谷」という意味のグレンフィディック。鹿のアイコンが目印の同銘柄は、爽やかな飲み口とリーズナブルな価格から、日本でも人気の高いシングルモルトウイスキーです。

「モルトウイスキー」と「グリーンウイスキー」をブレンドさせた「ブレンデッドウイスキー」が主流だった1960年代に、世界に先駆けてシングルモルトとして発売したことで有名。当時としては革新的な試みでしたが、軽やかな飲み口から多くの人々に受け入れられ、今ではシングルモルトの分野で世界トップクラスのシェアを誇っています。

【味わい】甘く、フルーティーな味わいで、洋梨やレモンを感じさせる爽やかな香りが特徴。飲んだ後はほのかな甘みが残り、繊細で軽やかな味わいが広がる。

Speyside

ベンロマック10年
Benromach 10y

¥1,300



ベンロマック蒸留所のオーナー（所有者）は、ウイスキースペシャリストとして名高い老舗インディペンデント・ボトラー（独立瓶詰業者）のゴードン&マクファイル社（以下、GM社）です。同社は100年以上に渡る長い歴史を持ちますが、その悲願でもある蒸留所の獲得を果たしたのは1993年のことです。同じく100年近い歴史を持ちながら、オフィシャル・ボトラーはほとんど発売されず、その実力を埋もれさせたまま歴史の中に消えていこうとしていたベンロマック蒸留所。その秘めた可能性の復活にGM社が全精力を傾け、5年の月日をかけて蒸留所を立て直しました。

伝統、技術、情熱、歴史、そして人々の想い・・・その全てを受け継いでいるのがベンロマック蒸留所なのです。

【味わい】スパイスに似る華やかを持ちつつ、オリジナリティ溢れる濃密な味わい。クランベリーやラズベリーを想わせる果実感たっぷりの酸味と甘み。そして、モルト由来のまるやかな甘みもしっかり感じます。ピートは穏やかで、後半にシェリー樽からくる甘美な熟成感がやってきます。

Speyside

グレンアラヒー8年
Glen Allachie 8y

¥1,500



グレンアラヒー蒸留所はアベラワーの町の郊外に1967年に設立されました。

設立当初よりブレンデッドウイスキーへの原酒供給をメインに行っており、シングルモルトはインディペンデントボトラーからわずかにリリースされるのみの極めて希少な銘柄でした。

しかし、シングルモルト界の伝説的プロデューサーと称えられる、ビリー・ウォーカー氏がシングルモルトとしての「グレンアラヒー」の可能性を見出し、2017年に大手メーカー傘下から所有権を取得。

グレンアラヒー蒸留所はついに独立を果たし、ブレンド用の原酒に使われ日の目を見ることがなかった数万丁の樽は、ビリー氏の手により静かにその輝きを取り戻し始めました。

岩の谷（Glenallachie）に佇む白壁の蒸留所は新たな命を与えられ、ウイスキーの故郷スペイサイドでシングルモルトの蒸留所としてゆっくりと動き出したのです。

グレンアラヒー8年はマスターディスティラーのビリー・ウォーカー氏がこれまでに培ってきた樽材に関するノウハウを生かし、ペドロ・ヒメネスパンチョンとオロロソシェリーパンチョンの原酒をメインに使用し、少量のバージンオーク樽原酒と赤ワインバリックの原酒を加えてつくられています。

【味わい】ヘザーハニーやバタースコッチの香りに、甘いスパイスとジンジャーがバランスよく広がり、グレンアラヒーの個性が表現された仕上がりになっています。

Scotch

~Single malt~

オーバン14年
Highland Oban 14y

¥1,500



オーバンはスコットランド南西部にある町の名前で、西ハイランドの観光市の港町として知られています。ゲール語で「小さな湾」という意味があり、立地する町の名前がそのまま蒸溜所・ブランドとしてネーミングされました。蒸溜所の設立は1794年、創業者はスチーブソン兄弟。免許を受けた蒸溜所としてはスコットランドにおいて最古の部類に入ります。ウェストハイランド西岸にあるオーバンの港は、アイランズ地方への玄関口としても知られます。オーバンを、ハイランドとアイランズの特徴が融合した独特のシングルモルトにしているのは、この立地条件であるといわれています。

オーバン蒸溜所は、蒸溜所としては珍しく、人々で賑わうリゾート地の中心で操業しています。今から200年以上前、地元の企業家であるスティーヴンソン兄弟が事業を開始。その後、オーバン蒸溜所は製品を世界中に輸出してきました。蒸溜所は1890年代に改修工事が行われて以来、ほとんどその姿を変えることなく、現在に至っています。

オーバンが後世これほどの人気を博すると予測していたら、スティーヴンソン兄弟は蒸溜所を現在の場所に建てていなかったかもしれません。というのも、蒸溜所の背後は切り立った崖で、正面の海岸との間には遊歩道が通っているため、オーバン蒸溜所は拡大することができないのです。しかし、どこか別の広い場所に蒸溜所を構えていたとしたら、世界に知られるその「スマ・スチル」（小さな蒸溜器）が使われることはなく、多くのシングルモルト愛好家を虜にしてきたオーバンの特徴は、生まれなかったに違いありません。

【味わい】 爽やかなピート香と、やや重厚なミディアムタイプのシングルモルト。

Highland ダルウィニー15年
Dalwhinnie 15y

¥1,200



スコットランドで最も標高の高い(1,073フィート、約326m)蒸溜所のひとつで、人が居住している地域ではスコットランドで最も寒い場所です。

ヘザーと蜂蜜の香りが特徴的なウィスキーを生み出すこの蒸溜所は政府の気象観測所も兼ねており、毎朝気温と湿度を計測するのがこの蒸溜所スタッフの仕事でもあります。

柔らかいが芳香のある性質。グランビアン山脈の雪解け水とあたり一面がヒース(ツツジ科の低木)が生える野という蒸溜所の立地がこのウィスキーの特徴を造り出しています。

【味わい】 蜂蜜の甘さや柑橘類、バニラといった尾を引く香味の後に、スモーキーさ、ピーティーさ、モルティさが立ってくる。

Highlands ケイデンヘッド オリジナルコレクション アードモア11年
CADENHEAD ORIGINAL COLLECYION Ardmore 11y

¥1,300



1842年アバディーンに創業したスコットランド最古のインディペンデント・ボトラー。ノンチルフィルターとノンカラーリングをポリシーとし、175年以上の歴史が積み上げた蒸溜所とのコネクションと磨かれた目利きによる品質の高さは他の追随を許しません。

「オリジナルコレクション」はより多くのウィスキーファンに楽しんでいただけるように、蒸溜所の個性が際立ったカスクだけでなく、タイプの異なるカスクを積極的に組み合わせることで多様なスタイルを表現した46%ボトリングのシリーズです。マルサラワイン樽70%+パーボン樽30%で熟成させたウィスキー。

【味わい】 磯の香り、甘口のBBQソース、スモークソーセージ、オレンジ。
味わいは、じっくりと煮込んだジャックフルーツ、炭の粉、塩、ジュシーなフルーツ。

Scotch

~Single malt~

Highlands

グレンモーレンジイトーキョー
Glenmorangie "Tokyo"

¥2,100



「グレンモーレンジィ -A TALE OF TOKYO-」は、バーボン樽やシェリー樽、そして日本のミズナラ樽で熟成されたウイスキーです。年齢表示のないこのシングルモルト・スコッチ・ウイスキーは、東京の印象からインスパイアされています。グレンモーレンジィとアードベッグの蒸溜・製造最高責任者であるビル・ラムステン博士は、何度も訪れた東京での様々な思い出や感情、そしてそこで刺激された味覚から、新しいウイスキーを作るアイデアを得ました。特に、日本のミズナラ樽で熟成させることに興味を持っていたそうです。ウイスキーのパッケージデザインには、日本人アーティストの山口晃氏を起用しています。山口氏は、東京の豊かな歴史と文化を遊び心溢れる視点で表現し、印象的なアートワークに仕上げています。

「グレンモーレンジィ -A TALE OF TOKYO-」についてビル・ラムステン博士は次のようにコメントしました。「私は幸運なことに、長年にわたってグレンモーレンジィを世界中に広めながら、ウイスキーづくりの新たなインスピレーションを得るために広く旅をしてきました。賑やかな通りと静かな庭園、古代の建物と近代的な建物、多くの感覚的な体験、そして文化の相反する矛盾に魅了されています。何年も東京で過ごしたことで、東京での経験、そしてこれらの美しい複雑さをウイスキーの形で表現できないかと考えるようになりました」

「グレンモーレンジィの原酒の一部を、希少な日本のミズナラ樽で熟成させました。バーボン樽やシェリー樽で熟成させたグレンモーレンジィとのバランスをとり、柔らかくする必要があったのです。」

【味わい】力強いハーブの香り、トフィーの香り、お香とサドルソープのコントラストがあり、その後に樹脂の香りとシダーウッドのタッチが続く。味わいはペッパーのような口当たりは、フェネルと歯ごたえのあるオークとともに、ピリッとしたオレンジとビターチェリーのノートにつながります。

Islands

ハイランドパーク 12年 ~ヴァイキング・オナー~
HIGHLAND PARK ~VIKING HONOUR~

¥1,200



スコットランドの北にある、大小あまりの島々が集まるオークニー諸島。かつてはヴァイキングの拠点でもあったこの地で、1798年にハイランドパークは創業された。スコットランドの蒸留所で最北端に位置する。仕込み水は蒸留所近くのミネラル豊富な湧き水。いまでも伝統的な製法で、濃厚なビートを吹き、オロロソシェリー樽でゆっくり熟成させる。2017年、ブランドのイメージチェンジを行い、パッケージも一新。ボトルに刻まれた模様は、ノルウェーの世界遺産「ウルネスの木造協会」の壁面装飾をモチーフとしたもの。蒸留所のある北緯59度は、ロンドンよりもスカンジナビアに近い。自らを「オーカディアン（オークニー人）」と称する彼らの、ヴァイキング魂を表現している。

【味わい】甘い香りとスモーキーさ、ハーブやバニラのバランスが取れた香り。味わいはビターチョコレート、オレンジピールのスムーズなコクがある。甘・辛・酸のバランスが絶妙。

Islands

タリスカー10年
TALISKER 10y

¥1,000



1982年、当時タリスカー蒸留所を所有していたDCL社は40程度の蒸留所を所有していました。その当時、スコッチウイスキーといえばそのほとんどはブレンデッドスコッチウイスキーであり、タリスカーもジョニーウォーカーなどの貴重な原酒として重宝されていました。シングルモルトの個性的な味わいを広めたいとタリスカー8年がリリースされます。しかし、当時はシングルモルトにほとんどの人は見向きもせず、DCL社は買収されてしまいました。

新しい所有者であるユナイテッド・ディスティラリーズ社（現在のDIAGEO社の前身）は必ずシングルモルトの時代が来ると、所有する蒸留所から各地域を代表する6つの蒸留所をボトリングした“クラシックモルトシリーズ”を1988年にリリースします。その際にアイランズモルトの代表として選ばれたのがタリスカー蒸留所です。そのときにリリースされたのが“タリスカー10年”であり、現在もタリスカーを代表する商品として世界中で愛されています。

【味わい】ほのかな海水の塩、生ガキそして柑橘系の甘みを感じさせる、力強いビートのスモーキーな香り。味わいは煙るようなスモーキーさと力強いモルトの香味を伴う、豊かなドライフルーツの甘み。温かく、情熱的。のどの奥にペッパーの香りを感じる

Scotch

~Single malt~

Islands アランモルト10年
Arran 10y

¥1,100



アラン蒸溜所は1995年にスコットランド・アラン島のロックランザ村に誕生した蒸溜所です。同蒸溜所は独立資本のため、ブレンド用の原酒づくりがメインではなく、シングルモルトとして飲むためのウイスキーをつくらしている数少ない蒸溜所です。昨今世界各地で産声を上げているクラフト蒸溜所のパイオニアとして知られており、小型の4基（2対）の蒸溜器で丁寧に蒸溜を行っています。

【味わい】 香りは蜂蜜、砂糖漬けのシトラス、リコリス、バタースコッチ。味わいはシトラス、リンゴ、オーク、ヘーゼルナッツ、シナモン。アランの特徴である清らかさとフルーティさ、モルトの味わいを感じられる。

Islands アランモルト クォーターカスク
Arran Quarter Cask

¥1,300



アラン クォーターカスクはバーボンバレルで7年間熟成後、125リットルのクォーターカスク（小樽）で2年間追加熟成し、カスクストレングスでボトリング。小樽で追加熟成したことで、オークのスパイシーな味わいを一層お楽しみいただけます。

【味わい】 輝きのあるゴールド色に、レモンピール、綿あめ、ココアの香り、パイナップル、青リンゴ、バニラ、オーク、ペッパーを感じるふくよかな味わい。

Islands ダンカンテイラー シングルカスク ハイランドパーク 2004 17年
シェリーバット
DUNCAN TAYLOR SINGLE CASK HIGHLAND PARK 17y

¥2,600



シェリーバットの17年熟成で、シングルカスクのカスクストレングスボトリング。色はマホガニー。シェリーのキャラクターと軽やかなオークニーピートが調和した素晴らしいシングルカスクです。近年ボトラーズからリリースされる「ハイランドパーク」のそのほとんどは、蒸溜所名を伏せてリリースされている中で、蒸溜所名の公表が許された数少ないボトリングです。

ダンカンテイラー シングルカスクは、ダンカンテイラー社のメインレンジ「ダイメンジョンズ」をブラッシュアップした後継レンジで、スコッチウイスキーのシングルカスクをカスクストレングスでボトリング。

【味わい】 グラスに注ぐとドライフルーツやチョコレート、マーマレードといったシェリー樽由来のキャラクターが立ち昇り、ヘザー、柔らかなピートスモークが後に続きます。口に含むと香りの期待通り、サルタナやデーツなどの凝縮感のある甘味にビターチョコレート、出汁の旨味やスパイスが広がります。フィニッシュにかけて感じられる軽やかなピートスモークと少量の硝煙が味わいをより複雑に変化させ、柔らかな甘みが余韻となって長く続きます。

Scotch

~Single malt~

Islands ケイデンヘッド オリジナルコレクション ジュラ12年 ¥1,500
CADENHEAD ORIGINAL COLLECYION JURA 12y



「ケイデンヘッド」は1842年アバディーンに創業したスコットランド最古のインディペンデント・ボトラーです。ノンチルフィルターとノンカラーリングをポリシーとし、175年以上の歴史が積み上げた蒸溜所とのコネクションと磨かれた目利きによる品質の高さは他の追随を許しません。

「オリジナルコレクション」はより多くのウイスキーファンに楽しんでいただけるように蒸溜所の個性が際立ったカスクだけでなく、タイプの異なるカスクを積極的に組み合わせることで多様なスタイルを表現した46%ボトリングのシリーズです。

【味わい】 トロピカルフルーツジュース、バニラケーキ、ヒッコリーのチップの香りに、焼きマシュマロ、スモークチェダー、ビーフ、プルーン、レーズン、ドライマンゴーを感じる甘やかな味わい

Islands タリスカー ワイルダーシーズ ¥1,900
Talisker Wilder Seas



タリスカーの海洋保護パートナーであるPARLEYとコラボレーションした限定商品。

100%リサイクル可能なボトルを使用し、タリスカーとして初めてコニャック樽で追加熟成した原酒をボトリングしました。

1本購入されるごとに3ポンド（約500円）がPARLEYに寄付され、直接的に海洋保護を支援できる「海に生まれた」タリスカーならではの特別な一本です。

【味わい】 ドライフルーツ入りの大麦芽パンのような、芳醇だが柔らかくドライな印象。ミネラル感、潮風、塩の結晶、航海中の木製の船。そして果実味のあるワイン、パイプタバコ。加水するとスモーキーさを感じる。クリーミーで滑らかな口当たりで、芳醇な甘み、潮風、スモーキー、フルーティー。レーズンとイチジクの青々とした甘み、黒胡椒のスパイス、芳醇でスモーキーな力強さ。加水するとわずかに甘く、フルーティーになり、再び熟したイチジク、スパイシーさが立ち上がる。

Scotch

~Single malt~

Islay アードベッグ10年
Aedbeg 10y

¥1,200



ピートを強く吹き込んだ麦芽を使用して原酒を仕込む蒸留所が多いアイラ島。その中でもアードベッグは「一番スモーキーさが強い、強烈なシングルモルト」と言われています。1815年、アードベッグ蒸留所はジョン・マクドゥーガルによってアイラ島の南岸、大西洋の荒波が打ち寄せる小さな岬に建てられました。アードベッグとは蒸留所が建つその場所からゲール語で、文字通り「小さな岬」や「小さな丘」を意味します。

【味わい】 香りは、しっかりと強く上がるピートスモークそして奥に麦芽の甘い香り。口に含むと、強烈なスモーキーな味わいにクリーミーさが融合してくる。しっかりと刺激的で口中がピリッと感じられるが、ドライでどこか気品が有るような味わいもそれと同時に広がる。軽快な味わいだがフルフレーバー。フィニッシュでもやはり「スモーキー」でまさに煙を感じ、余韻は長く複雑に続く。

Islay ラフロイグ10年
LAPHROAIG 10y

¥1,100



「アイラモルトの王者」ともいわれるラフロイグ。ラフロイグ蒸留所が創業したのは1815年。ドナルドとアレックスのジョンストン兄弟によって作られました。ラフロイグとはゲール語で、広い入り江の美しい窪地という意味。その名の通り蒸留所は美しい入り江に面して建てられています。日本では「正露丸のよう」ともいわれるヨード臭は、海に近い湿地から切り出した海藻や苔をたっぷり含んだピートを、伝統的なフロアモルティングで炊きこんでいるからです。その消毒薬のような香りに拒絶反応を示す人もいますが、クセになってやめられないというファンも多いウィスキーです。

【味わい】 香りは海を感じる磯っぽいヨードの香りにバニラクリーム。口に含むと、舌を若干オイリーなバニラ系の滑らかな甘みが包み込み、すぐにハーブやスモーキーな味わいが華やかで刺激的に折り重なり現れる。ボディはしっかりと重たく飲み応えも十分。

Islay ラガヴェーリン8年
LAGAVULIN 8y

¥1,100



アイラ島のシングルモルトウィスキーの中でもラフロイグやアードベッグと双璧をなし、スモーキーで個人的にしかどこかエレガントな蒸留所ラガヴェーリン。ラガヴェーリンとはゲール語で水車小屋のあるくぼ地という意味。

「ラグ」がくぼ地を「ヴェーリン」が水車小屋を指します。蒸留所が創業したのは1816年、ラガヴェーリン湾に面した場所に設立。しかしその始まりは1742年ジョン・ジョンストンによっての密造酒時代まで記録をさかのぼることが出来ます。その後、蒸留所は「ホワイトホース」の生みの親ピーター・マッキーの手に渡ります。以来ラガヴェーリンはブレンデッド・ウィスキー「ホワイトホース」のキーモルトとして長く使用されている事でも有名に。

【味わい】 香りは、スモーキーながらもわずかに干しブドウの様な甘い香り。口に含むとスパイシー、スモーキー、ウッディーな味わいがバランスよく広がる。ボディは厚く飲みごたえがあり、スモーキーなだけでなく、華やかで繊細。若干フルティーでオイリーな一面も。フィニッシュではスパイシーでスモーキーな味わいと共に海草とダークチョコのようなほろ苦さが加わり、長く心地よく続く。

Scotch

~Single malt~

Islay

カリラ12年
CAOL ILA 12y

¥1,100



カリラはゲール語でアイラ海峡（サウンド・オブ・アイラ）を意味します。アイラ島とジュラ島を分かち、この海峡周辺はスコットランドの西海岸で最も美しい場所のひとつと言われています。ナムバン湖の真水を仕込み水としてふんだんに使えることから、1846年、アイラ海峡に面したこの場所に蒸留所が建てられました。1974年に建て替えが行われたものの、カリラ独自の品質を保つため、オリジナルの設計図に忠実に建物と6つのスチルを再現。ナムバン湖の水は現在でも使われ、伝統的なモルトウイスキーの製法は、今も維持されています。

【味わい】フレッシュ、甘くフルーティで、スムーズなボディのカリラ12年は、淡い麦わらの色とデリケートなバランスの味わいを持ちます。グリーンで食欲をそそる香りの中にかすかな柑橘系のフルーツとほんの一筋のスモークが包まれています。しっかりとしてスムーズ、始めは甘く、その後フレグラントで甘いスモーキーさと長く尾を引くフィニッシュが続きます。

Islay

キルホーマン マキヤーベイ
KILCHOMAN MACHIR BAY

¥1,000



キルホーマン マキヤーベイは2005年にアイラ島に誕生したファームディスティラリー、キルホーマン蒸留所の定番商品です。ヘビーピート（フェノール値50ppm）の大麦芽を使用し、バーボンバレルで熟成した原酒をメインにヴァットティングしています。マキヤーベイ（MACHIR BAY）とはキルホーマン蒸留所から半マイルの距離に位置するアイラ島で最も美しいといわれるビーチです。

【味わい】香りはヨードの乗ったアイラらしい力強いピートスモークに、やわらかく芳しい多種な果実のアロマが鼻腔をくすぐります。味はフレッシュなシトラスフルーツ、バニラの甘さ、そして骨太ながらも洗練されたピートスモークが三位一体となり、舌の上をなでるように流れ落ちていきます。

Islay

キングスバリーゴールド カリラ 2011 10年
KINGS BURY CAOL ILA 10y

¥2,200



オロソシェリー樽にて熟成されたカリラ 10年！
アイラらしき全開のスモークにフルーティな風味と潮風を感じさせるニュアンス、それらをしっかりと包み込むシェリー樽の甘さが絶妙で、実に出来の良いモルトに仕上がっています。
キングスバリー社・・・キングスバリー社は、スコットランド・アバディーンにて設立され、1989年よりシングルモルトのボトリングを開始し、ロンドンに事務所を構えた後も数々の伝説的なウイスキーをリリースしてきた、インディペンデント・ボトラー（独立瓶詰業者）です。
創設当初は、モルトウイスキーという言葉すら一般的ではない時代で、現在ではボトラーの代表格ともいえる老舗のゴードン&マクファイル社やケイデンヘッド社が、ようやくその頭角を現し始めた頃でした。
キングスバリー社も、当時よりシングルモルトの魅力や可能性を見出し、ウイスキーの個性を遺憾なく発揮するべく、樽の選定やシングルカスクという概念、流行していたチルフィルタレーションを使用しない姿勢など、強いこだわりを頑なに守ったリリースを続けてきました。その結果、数々の伝説となるボトルやシングルモルトを世に送り出し、ボトラーとしての確固たる地位を確立するに至りました。

【味わい】磨き上げられたブロンズ色が、ファーストフィルのオロソシェリー樽で熟成されたことを自慢げに見せつけているようだ。香りを取ると、甘いカラメルに一吹きシーソルトやスモークが伴い、口にすると滑らかかつクリーミーで、フレーバーが波のように押し寄せる。トフィーのような甘さの奥にスモーキーなベーコンを感じ、フルーツや塩気もまたそこにいる。驚くべきウイスキー。

Scotch

~Single malt~

Islay

スカラバス バッチストレンクス
Scarabus 10y

¥1,500



大人気のハンターレイン社が作るアイラ シングルモルト「スカラバス」。
定番品はもちろん、先月ご案内の10年も瞬く間に完売と、人気は衰えていません。先代よりアイラの地にゆかりがあり、特にアイラモルトの評価が高いそのHL社より、2019年に満を持してリリースされた渾身のアイラモルト「スカラバス」は、蒸留所名と熟成年数は完全シークレットとなっておりますが、その素晴らしい味わいと優れたコストパフォーマンスで、リピートが途絶えない人気のウイスキーです。

「スカラバス」～探し求める者だけがみつけるもの～
スカラバスとは、「岩の多い場所」を意味する古ノルド語で、アイラの秘境の地名にちなんでいます。そして、ラベルデザインにあしらわれた「日照計のイラスト」は、日照計を発明したアイラ島出身のジョン・フランシス・キャンベル氏が持った旺盛な好奇心と強い探究心と同じようにという思いが込められています。
探究心と厳しい眼によって、アイラの自然の恩恵を隅々まで理解し、独自の製法によって生まれる褒美のようなウイスキーであることが見事に表現されています。

【味わい】海岸の焚き火やアイラのピートスモークの力強さに、リコリスやトフィー、バニラが加わる。灰をいつまでも感じる長いフィニッシュ。

Islay

ダルゲティ カリラ 9年
Dalgety Caol Ila 9y

¥2,500



「ダルゲティ」は、「レディ オブ ザ グレン」で知られるインディペンデントボトラー「ハンナ ウイスキーマーチャント」のスマールバッチボトリングシリーズです。スマールバッチは、数量が多く確保できるためより多くの人に楽しんでもらえるだけでなく、カスクの組み合わせによる表現の豊かさや、その値ごろ感も魅力の一つです。名称は地元の街「ダルゲティベイ」に由来しています。

「カリラ 9年 2014」は、2014年蒸溜のファーストフィル アマローネバリック2樽のスマールバッチで9年熟成。陰干しブドウから造られるイタリア高級ワイン「アマローネ」の樽に由来する濃密なワインの味わいがスモーキーな味わいと調和したカリラです。

【味わい】香りはオレンジ、ブラックベリー、ピートスモーク、コーヒー、磯の香り。味わいはデーツ、トフィー、レッドカラント、ハム、シナモン、潮、ピートスモーク、タンニンを感じる。灰をいつまでも感じる長いフィニッシュ。

Scotch

~Blended~

ビー・ビー・アール(ベリー・ブラザーズ・アンド・ラッド)ブレンドッド・モルト
Islay B.B&R (BERRY BROTHERS & RUDO) BLENDED MALT ¥1,100



BB&R社は、1698年ロンドンのセントジェームズ3番街に英国最古のワイン・スピリッツ商として創業致しました。
1903年にはエドワード7世より英国王室御用達を賜り、現在ではエリザベス女王とチャールズ皇太子から、それぞれ御用達指定(王室御用達)を受けています。
「アイラリザーブ アイラブレンドッドモルト」は、アイラモルトのみ使用した、ブレンドッドモルト(モルト100%)。
アイラモルトの特徴である、ピート感が色濃く出たモルトウイスキーのみをブレンドしています。
残念ながら使用されている蒸留所は非公開になっており、アイラ島のどこかのモルトとしか情報はございませんが、
これぞアイラといった風味がよく出ている特徴的なモルトです。

【味わい】色はライトゴールド。香りは塩気を伴ったフェノリックなピート、果樹園が広がります。味はクリーミーで、シロップ、麦芽の甘みの後に済一キーさが現れ全体を包み、フィニッシュに潮と共に再びピートが現れ心地よい余韻が続きます。ブレンドによりアイラモルトの旨味が一層引き出されています。

ビー・ビー・アール(ベリー・ブラザーズ・アンド・ラッド)ブレンドッド・モルト
B.B&R (BERRY BROTHERS & RUDO) BLENDED MALT ¥1,100



B.B&Rのスピリッツバイヤー、ダグラス・マクアイパー氏とブランド・ヘリテージ・ダイレクターのロニー・コックス氏が熟成年数に重きを置かず各スタイルの特徴が上手く現れた成熟感のある樽を厳選しブレンドしています。ウイスキーにラグジュアリーさを与えるシェリー樽由来のドライフルーツの風味が効いたスタイルで、スペイサイドモルトを軸に厳選されたシェリーバット熟成の原酒のみを使用しています。

【味わい】香りはブルーン、レーズンの魅力あふれるシェリー樽由来のアロマが広がり、味はドライデーブ、ドライイチジク、マーマレード、ウッド、アーモンドが混ざり合い、非常に長い余韻が続きます。

Speyside モンキーショルダー ブレンドッド・モルト
MONKEY SHOULDER BLENDED MALT ¥1,000



モンキーショルダー」はスコッチの一大産地、スペイサイドで2005年に生まれた比較的新しい銘柄です。3種類のモルト原酒だけで造る「トリプルモルト」が特徴のウイスキーで、それぞれのモルトが調和した、軽やかでリッチな味わいに定評があります。クセが少なく飲みやすいので、ストレートはもちろん、カクテルにしてもおいしくたのしめます。この繊細なブレンドッドモルトの味を決定づけるのは、製造元のウィリアム・グラント&サンズ社が所有する3つの蒸溜所から厳選した最高級のモルト原酒と、名モルトマスターの傑出したヴァッティング技術です。現代より少し昔、麦芽を混ぜるモルティングという工程は手作業で行われていました。この重労働によってモルトマンが患う一種の職業病は「Monkey Shoulder = 猿の肩」と呼ばれ、現在は機械化によってこういった症状はほとんど見なくなりましたが、彼らに対する尊敬の念はこのウイスキーの象徴的な名前として生き続けています。

【味わい】洋梨・バニラ・ビターチョコ・ハチミツの香り。
麦芽の甘さ、心地よい苦味、やわらかいピート香。
繊細な味わいと優しい余韻が長いスムーズ&リッチなモルトウイスキー。

Scotch

~Blended~

Islay ビッグピート12年
BIG PEAT 12y

¥1,400



1948年にグラスゴーで設立されたボトラーですが、その前身となった会社の歴史は1800年代の後半にまで遡ることができます。

アメリカを主な取引先とする海運業者でしたが、当時はブレンデッド・ウイスキーの需要が爆発的に高まっており、スコッチウイスキーの輸出業に進出。その時のストックを原点として、ダグラスレイ社の歴史が始まっています。

同社が日本の皆様に愛されてきた理由は、その突出して高い品質にあります。「キングオブスコッツ」などのブレンデッド・ウイスキーの生産者（ブレンダー）としての一面を持つ彼らは、シングルモルトとしての基準に満たない樽は全てブレンデッド・ウイスキーへ回してしまいます。

メインシリーズの「OMC=オールド・モルト・カスク」はもちろん、さらに選び抜いた樽から毎回数アイテムのみリリースされる「オールド&レア・プラチナム」は、現在輸入されているボトラーズ・ブランドの中の最高峰と言っても過言ではありません。原酒：アードベッグ、カリラ、ボウモア、ポートエレンをブレンド。

【味わい】クリーンでフレッシュ、塩気と海を感じる香りが、ピートを焚いて乾燥させた甘いモルトに変化する。チャーしたオーク、煙突の煙、潮だまりや夏場のタールの風味のあとで、ブラウンシュガーやたき火の灰、質の良いフェノール香をいつまでも伴った長いフィニッシュへと続きます。

Islay ビッグピート 柔道エディション
BIG PEAT JUDO EDITION

¥1,600



ビッグ・ピートから、日本限定「ビッグ・ピート・柔道エディション」の登場です。

日本伝統のスポーツと言えば、やはり柔道。

ラベルには、ボトル片手に白熱した真剣勝負を観戦するピートおじさんが描かれています。

おじさんも柔道着なので、選手として試合に出るのかと思いきや、実際はただの観客なんだそうです。かなりのスポーツ好きですね。

【味わい】鬱陶しい気分も吹き飛ばすような、超ソルティ&ハイブルーフの仕上がり。ぜひともハイボールにしてお楽しみください。

Islay ティモラス ビースティ 13年 Meet The Beast(ダグラス・レイ社)
Timorous Beastie 13y

¥2,200



ダグラスレイ社の革新的なエリア別ブレンデッドモルト「リマーカブルリージョナルモルト」シリーズから、ハイランドモルトのみをした使用しカスクストレングスでボトリングした「ティモラス ビースティ13年 MEET THE BEAST」が限定リリース。

「ティモラスビースティ（かよわきケモノ）」とは、ウイスキーファンにおなじみの作家ロバート バーンズの作品「二十日鼠へ」に登場する小さくて臆病な野鼠から名付けられました。

今回の可愛らしい野ネズミは一見おとなしそうに見えるものの、その愛くるしい外見の奥には、爆発するほどのスパイスやカスクストレングスの深みが溢れ出す、モンスター級のモルトウイスキーが隠れています！まさにオリジナルのティモラス ビースティを「巨大化」（ハイパーマッジョ化）した1本と言えますね。

ブラックカラーのボトルに赤いキャップシール、高級感あるギフトチューブ入り、トレードマークであるネズミのキャラクターと全体をモノクロでまとめ、大胆なレッドの箔押しがデザインに印象的なアクセントを加えます。

【味わい】はじめは甘く、ハチミツやスパイス漬の柑橘系フルーツの香りで焦がしたオレンジの皮、やわらかいハニカム、スパイシーなバニラの味わい、やわらかいスパイスと甘いバニラの余韻が続きます。

Scotch

~Blended~

Islay アイラ・ジャーニー
Islay Journey

¥1,400



ハンターレイン社が作る「旅するウイスキー」ジャーニー・シリーズ。
アイラ島の蒸留所のみで作られた、アイラブレンドモルトウイスキーです。
アイラ島への旅は簡単なものではありません。そこにたどり着くまでには時間がかかりますが、島はウイスキーと同様、努力する価値があります。私たちは何世代にもわたってこの旅をしてきましたが、これからもそうし続け、アイラ島が提供する最高のモルトウイスキーのいくつかを持ち帰ります。
この上質なスコッチモルトウイスキーの卓越したブレンドを作るために、象徴的なアイラ島にある最高級の蒸留所からウイスキーを選びました。味わいと香りの滑らかさと複雑さのバランスは、バーボンホッグヘッドで熟成されたウイスキーをブレンドすることから生まれます。
■原酒構成：アードベッグ、ラガヴァーリン、ラフロイグ、ブナハーブ、カリラ。7年前後の熟成。

【味わい】 香りは、スモーク、灰、タールを思わせ、口に含むと、ピート、海水、海藻の風味が現れる。

ロバート・バーンズ ブレンド
Robert Burns Blended Whisky

¥1,100



～人気のアラン蒸留所が提供するブレンドウイスキー～ロバートバーンズ（1759-1796）は日本でもなじみの深い『螢の光』を作詞したことで知られるスコットランドの国民的詩人で、ウイスキーを心から愛し、ウイスキーにまつわる多くの詩を残しました。
世界で8万人のメンバーを有する「ロバートバーンズ・ワールド・フェデレーション」のパトロンであるアラン蒸留所は、ロバートバーンズのサインと肖像を使う事を唯一許されています。
ロバートバーンズブレンドは、アランモルトをメインとしたブレンドウイスキーで、スムーズな口当たりになりドライな味わいと、かすかなピートスモークが特徴です。気軽にお楽しみいただけるオールラウンダーといえます。

【味わい】 ラズベリー、アーモンドタルト、トーストしたオーク、トフィー
味：ドライ。りんご、リコリス、ピートスモーク、バニラ

Scotch

<u>Campbeltown</u> n	グレンスコシア 10年	¥1,300	
	Glen Scotia 10		

スコットランドのキャンベルタウンにて、現在も稼働している蒸留所はスプリングバンク蒸留所と、こちらのグレンスコシア蒸留所のニャ所だけです。閉鎖と再開を繰り返してきたため、一時期は生産体制も不安定でしたが、ここ数年で改修が行われラインナップも大幅に増えております。

ノンピートモルト原酒をファーストフィルのバーボン樽で10年間熟成した、蒸留所の個性と樽由来の風味が完全に調和したシングルモルトです。

柔らかな潮の香り、滑らかなバニラ、様々なスパイス、伝統的なキャンベルタウンモルトの特徴を随所に感じられる一本です。

【味わい】柔らかな潮の香り、青い柑橘類、クリーミーなバニラ香り

<u>Highland</u>	ロッコ ローモンド 18年	¥2,300	
	Loch Lomond 18		

ロッコローモンド蒸留所は1966年にリトルミル蒸留所の第2工場として、スコットランド最大の湖であるローモンド湖のほとりに誕生。同蒸留所を象徴する特殊なローモンドスチルで有名ですが、それ以外にもノーマルネックのポットスチル、連続式蒸留器も保有しており、多彩な蒸留器から数々のユニークな原酒を産み出しています。

「ロッコローモンド18年」は蒸留所が保有する樽工場の、かつてマスターグーバー「トミー・ウォレス 氏により選り抜かれた最高級のオークカスクで18年熟成。長い年月が紡ぎ出した甘みと樽由来の味わいがお楽しみ頂けます。

【味わい】香りは青りんごやグレープフルーツ、フルボディでエレガントなオークの味わい、ピートやスモーキーさに絡み合う、たばこの葉や紅茶の余韻が長く続きます。

<u>Highland</u>	ノーブル・レブル スモーキー・シンフォニー	¥1,200	
	Noble Rebel Smoke Symphony		

ロッコローモンド蒸留所とグレンスコシア蒸留所の原酒をメインに、ロッコローモンドのマスターブレンダー「マイケル・ヘンリー」氏がブレンドした、オフィシャルブレンデッドモルトウイスキーが遂に実現!

リオハワインカスクでフィニッシュ。ノンチルフィルター、ナチュラルカラーでボトリング。うすらと揺れるピートと、唐辛子のヒントを持った煙の香り。赤い外観からも伺える、ほのかなベリーの酸味とのマリージュを感じます。

【味わい】スモーク、スパイス、ダークベリー、ピートとスモークの香り、そしてチリペッパー

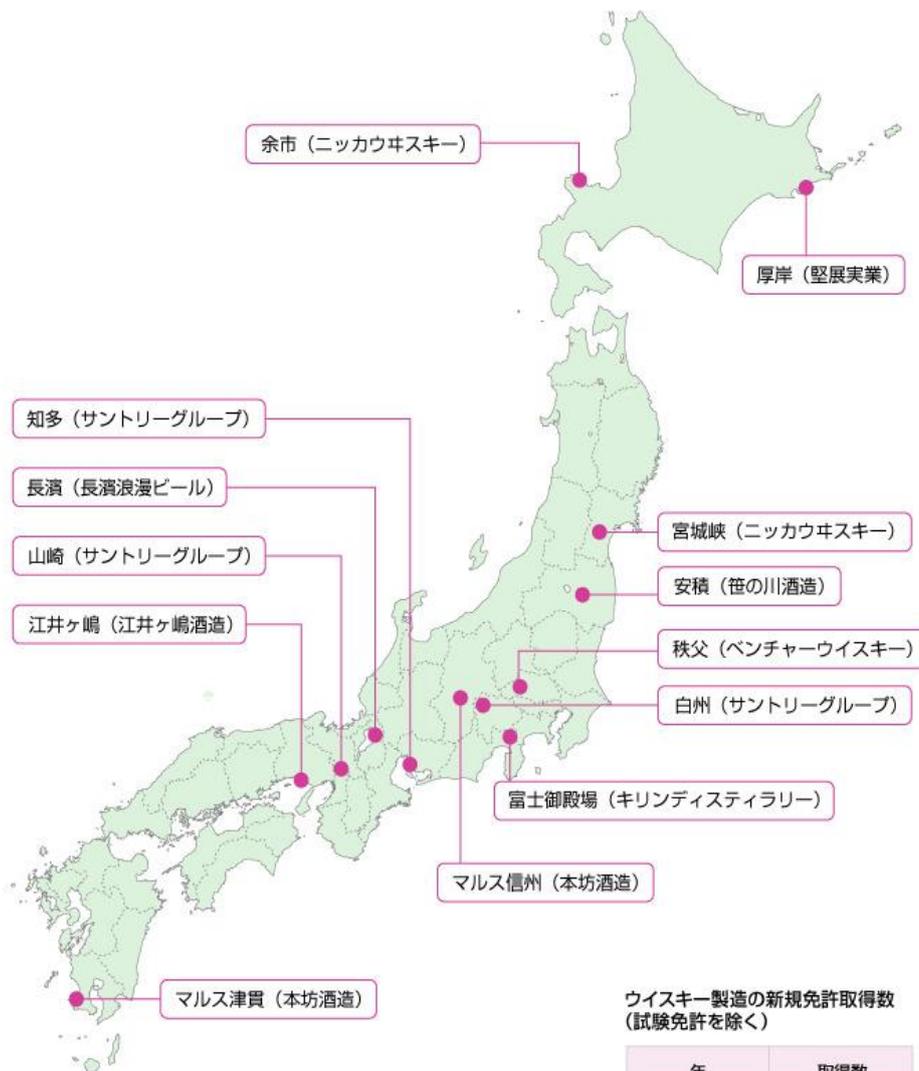
Japanese Whisky

ジャパニーズウイスキー

【繊細な感覚で多彩な原酒を造り分ける】

ジャパニーズウイスキーの誕生は20世紀に入ってからと、5大ウイスキーの中でも最も歴史が浅い。スコッチを手本にしているため、モルト、グレーン、両者を混合したブレンドドウイスキーが造られている。2006年頃から、ウイスキーの国際品評会で多くの銘柄が好成績を収めた影響。今や日本のウイスキーは、世界的に極めて高い評価を得ている。

国内の主なウイスキー蒸留所



ウイスキー製造の新規免許取得数
(試験免許を除く)

年	取得数
2014	1
15	3
16	9
17	7
18	6
19	8
20	17

Japanese

~Single malt~

北杜/山梨 白州(はくしゅう)
THE HAKUSHU

¥1,000



サントリーの創業者・鳥井信治郎が、大阪の山崎に、日本初のモルトウイスキー蒸溜所の建設に着手したのが、1923年。白州蒸溜所はそれから50年後の1973年に、サントリー第二のモルトウイスキー蒸溜所として誕生しました。

サントリー二代目の社長であり二代目マスターブレンダーも務めた佐治敬三は、山崎蒸溜所とは個性の異なるウイスキーを生み出す新たな環境を求めて、全国から候補地を探しました。そうして最終的に辿り着いたのが、白州の地でした。白州蒸溜所の竣工から21年後の1994年に、シングルモルトウイスキー「白州」を発売。白州の水によってつくられる「白州」は、その軽快でなめらかな味わいが今や世界中のウイスキーファンに愛されています。

【味わい】 酢橘やミントを思わせる香り。軽快で爽やかな口あたり、ほのかな酸味とスモーキーさ、ほのかな甘味を感じる。

山崎/大阪 山崎(やまざき)
THE YAMAZAKI

¥1,000



「日本人の手で、世界に誇る日本のウイスキーをつくりたい。」
1923年サントリーの創業者・鳥井信治郎はその大きな夢とともに、山崎蒸溜所の建設に着手。日本のウイスキーの歴史が歩み出した瞬間でした。山崎蒸溜所は大阪府三島郡島本町山崎に所在し、歴史あるサントリーの蒸溜所です。山崎はウイスキー造りに必要な名水と自然環境が揃っており、今では日本が世界に誇る、ジャパニーズ・ウイスキーの代表格となりました。「山崎」の、その筆文字は、生みの親である敬三によるもの。よく見ると、「崎」には「寿」の文字が隠されています。そこには、サントリーの前身である「寿屋」から脈々と受け継がれてきた熱い想いと、ジャパニーズシングルモルトの門出を祝う気持ちが込められているのです。

【味わい】 やわらかく華やかな香りに潜むイチゴのような香りはワイン樽熟成モルト原酒がもたらし、甘く煌めくような、なめらかな広がりにはミズナラ樽熟成モルト原酒が加わることによって生れます。

仙台/宮城 宮城狭(みやぎきょう)
MIYAGIKYO

¥1,000



北海道・余市で第一の蒸溜所をスタートさせてから、約30年。竹鶴政孝は、新しい蒸溜所建設の地を求めて動き始めました。「異なる蒸溜所で生まれた複数の原酒をブレンドすることで、ウイスキーはより味わい深く豊かになる」という信念を抱く竹鶴にとって、第二の蒸溜所は夢を実現するためにどうしても必要なものだったのです。

その頃、ニッカウイスキーは日本で初めてモルトウイスキーとグレーンウイスキーをブレンドした「ハイニッカ」を発売し、ウイスキーブームを巻き起こしていました。日本にウイスキー文化が浸透しつつある状況も、第二の蒸溜所づくりへの気運を高めました。

当時の北海道工場長・竹鶴威をはじめとしたスタッフが調査した候補地の中から、竹鶴政孝が選んだ地は仙台・宮城狭。仙台の街から西へ約25km、山形との県境に近いこの地は、広瀬川と新川というふたつの清流に恵まれた緑豊かな峡谷です。竹鶴は初めてこの地を訪れた時、新川の清流で持っていたブラックニッカを割って飲み、味わいを確認。その場で蒸溜所建設を決定したと言われています。

【味わい】 洋梨やりんごのようなフルーティな香りと、華やかなフローラルの香りを感じます。味わいは、口あたりが優しいドライフルーツのようなスイートさや、なめらかな口あたりです。個性がありつつもクセがなく飲みやすい味わいは、初心者向けのシングルモルトウイスキーです。

Japanese

~Single malt~

遊佐 シングルモルト
酒田市/山形 Yuza 2023 Single malt japanese Whisky

¥2,600



~山形初のシングルモルトウイスキー~

山形の地から世界が憧れるウイスキーを届けたい。

その思いで2018年に始まった遊佐蒸留所。

遊佐蒸留所のハウススタイルの“原点”ともいえるシングルモルト・ジャパニーズウイスキー。

バーボン樽で熟成したものから厳選。

香り・味わいの特徴は、ひと言でいえば「クリーン、スウィート&フルーティー」。バニラやハチミツ、そしてフルーティーな甘い香り。きめ細かくきれいな酒質、なめらかで洗練されたバランス良い味わいです。

【味わい】クリアな口当たり、甘くフルーティーさを持った香りはバニラや蜂蜜を思わせる。
なめらかで綺麗な酒質、バランスの取れた味わいは実に上品。

シングルモルト嘉之助 2023 LIMITED EDITION
日置/鹿児島 SINGLE MALT KANOSUKE 2023

¥2,400



嘉之助蒸留所は2017年に操業を開始。

鹿児島県の西岸、吹上浜沿いの約9,000㎡の広々とした敷地に建っており各施設が点在します。コの字形2階建ての本棟には蒸留設備のほか、眺めのいいバーやオリジナルグッズの揃うショップなどを設け、訪れた方々に身近にウイスキーづくりを体感いただける蒸留所になっています。『シングルモルト嘉之助 2023 LIMITED EDITION』は、嘉之助蒸留所で製造されたシングルモルトジャパニーズウイスキーです。2018~19年にビート麦芽で仕込み、焼酎リチャーカスク・シェリーカスクにて熟成した原酒をメインに、複数の樽をヴァットニング、カスクストレングスでボトリングしました。メロウな甘さと余韻の長いスモーキーフレーバーをお楽しみください。

【味わい】バナナ・カスタードクリーム・ニッキ飴・いぶりがっこの香りに、塩キャラメル・紅茶・ハツ橋・ブラッドオレンジを感じさせる味わい

World Blended (Japanese Blend)

～Blended～

秩父/埼玉 イチローズモルト&グレーン ホワイトラベル
Ichiro's Malt & Grain World Blended Whisky

¥1,100



イチローズモルトウイスキー(ベンチャーウイスキー秩父蒸留所)は、埼玉県羽生蒸留所(旧東亜酒造)で生まれた原酒を福島県笹の川酒造にて貯蔵熟成した地ウイスキー国産シングルモルトウイスキーです。ブレンダーであり蔵元の肥土伊知郎氏によって、熟成期間を見極めてボトリングされるシングルモルト・シングルカスクを中心としたジャパニーズシングルモルトウイスキーです。「ミズナラ」の丸太を肥土伊知郎自ら北海道に買い付けに行き、樽職人がパンチョン博に加工し自社のシングルモルトを貯蔵するなど、独自の方法で個性を引き出しています。

現在は、埼玉県秩父市で新蒸留所が完成し稼動し始めました。イチローズモルトは国産ウイスキーの中でも非常に貴重・希少な世界に誇れる個性豊かでまろやかな上質の「ジャパニーズシングルモルトウイスキー」として、ヨーロッパや北米を中心に高い評価を得ています。

【味わい】全部で9蒸溜所のモルト原酒と2蒸溜所のグレーンウイスキーをブレンド、さわやかで、華やかなウイスキーに仕上がりました。色は明るく輝きのあるゴールド。レモンビールやオレンジビールなど爽やかな柑橘系の果物を感じるトップノート。スイートで軽やかな中に複雑で奥深い原酒のハーモニー、コクのある余韻を感じる。

秩父/埼玉 イチローズモルト&グレーン “クラシカル・エディション”
Ichiro's Malt & Grain World Blended Whisky Classical Edition ¥1,500



様々な味わいを一つに組み合わせるブレンドは、使用する原酒の個性の幅が広がれば、その難しさも増し、一方で可能性も広がります。秩父の環境で、さらに熟成を深めた世界の五大ウイスキーを使用するというコンセプトはそのままに、よりクラシカルな味わいを追求。比率高めモルト原酒や、優しく香るスモーキーさがその幾重にも重なる香りの層に、心地よい調和を生み出してくれます。華やかで重みのあるフレーバー、そしてそれを支えるのは、それぞれの原酒の確かな個性。さまざまな飲み方に合わせて、長い余韻とともに香りの変化をお楽しみいただけます。

【味わい】アロマのような華やかさ、フローラルハーブの香りに、濃い甘さ、木樽のニュアンス、アフターに程よいピートを感じる。

秩父/埼玉 イチローズモルト&グレーン “リミテッドエディション”
Ichiro's Malt Malt & Graine Limited Edition ¥2,200



伝統的なダンネージスタイルの貯蔵庫で2008年の創業時から熟成させてきた原酒の中から、ブレンドで力を発揮する原酒をキーモルトとして選出。個性豊かなモルトやグレーン原酒をバランスよくブレンドしています。自然の風味を大切にするために、ノンチルフィルター（冷却濾過なし）で、人工的な着色を行わないノンカラーで造られます。

【味わい】熟したプラムのまろやかな酸味、それを包む甘みは軽やかな綿菓子のように、熟成を重ねたグレーン原酒の心地よい樽香にのって、口の中でいつまでも続きます。

World Blended (Japanese Blend)

～Blended～

落合/静岡 ガイアフロー ブレンデッド ウイスキー
GAIAFLOW BLENDED "M"

¥1,100



ガイアフロー静岡蒸溜所は、豊かな自然に囲まれた静岡の奥座敷「奥天保」にあります。雨ノル流れ出る伏流水が、この大地を潤し、やがて大いなる安倍川へと姿を変え、駿河湾へと流れていきよ。物たちが息づき、季節ごとにうつろう美しい自然の恵みを受けて、ウイスキーがゆっくりと熟成しています。気軽に楽しめるウイスキーをご提供するため、蒸溜所稼働後からすぐブレンデッドウイスキーの構想を始めていました。

静岡蒸溜所での生産量は限られているため、海外産の原酒（英国産モルトウイスキー、グリーンウイスキー）を仕入れて敷地内で熟成。

静岡蒸溜所の名を冠したシングルモルトウイスキー「プロローグK」（2020年産）「プロローグW」「ファン【味わい】柑橘、はちみつ、バナナの香りに、力強いモルト感とスパイシーさが混ざり合い、アフターにふわりとした甘さを感じる。

厚岸/北海道 厚岸ブレンデッドウイスキー 啓蟄
Akkeshi Blended whisky "Keichitsu"

¥2,600



スコットランドの伝統的な製法で、「アイラモルトのようなウイスキーを造りたい」という強い想いから2016年10月よりスタートした厚岸蒸溜所。

そのため設備はスコットランドのフォーサイス社製のものを導入しました。

ウイスキー造りに最適とされる冷涼湿潤な気候で、蒸溜所の周囲には、地中に豊富な泥炭（PEAT）層を含む湿原が広がり、地中のPEATを通った水を仕込み水に使用しています。

さらにアイラ島の環境に似た、厚岸湾すぐ側の熟成庫でウイスキーを熟成させ、空気中を漂う潮気を含んだ海の香りが、ウイスキーの香りに良い影響を与えています。

熟成樽はバーボン、シェリーに加え、入手困難な「ミズナラ」も使用。さらにワインやラム樽とのマッチングなど、あらゆる可能性に挑戦しています。

厚岸ウイスキー「二十四節気シリーズ」。

二十四節気とは一年を24等分して季節を表す名称を付けたもので、立春や夏至などもこれにあたります。二十四節気シリーズ第10弾となるシングルモルトウイスキー。

北海道産大麦を使い、厚岸で蒸留した原酒を、北海道産ミズナラやバーボン樽などで熟成した厚岸モルトがキーモルトとなっています。PEAT感は強めで厚岸特有の熟成環境が作り出すPEAT感や塩味が反映された、熟成4年ものがメインの味の厚みが出ているシングルモルトに仕上がっています。箱のデザインは、冬眠から目覚めたクマとチョウとなっています。

【味わい】だいたい、はっさく、みかん、黒糖、みたらし団子、オレンジ、レモン様の甘みと酸味。ホワイトペッパー、紅茶、塩レモン、カラメル様の苦みと甘味。

Irish Whisky

アイリッシュウイスキー

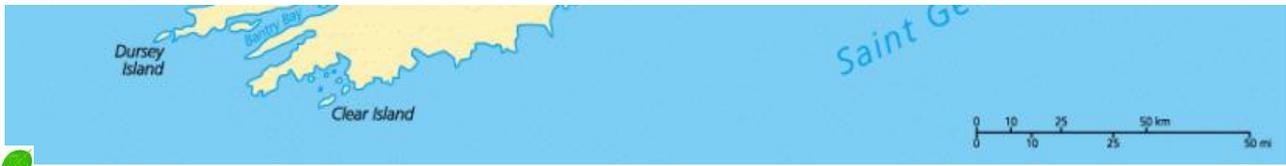
【劇的な復活を遂げたもうひとつの発祥地】

アイルランドは南北約500km、東西約300kmの島で、北側の約6分の1がイギリス領の北アイルランド、残りはアイルランド共和国。

アイリッシュは、この双方で造られるウイスキーを指す。

エルトウイスキーとグレーンウイスキーを混和した「アイリッシュブレンド」が主流。スコットランドと同様にウイスキー発祥地とされている。





Irish

~Single malt~

Ireland

カネマラ ピーテッド・シングルモルト
Cannemara Peated single malt

¥900



ブランド名「カネマラ」とはアイルランド西部の街、ゴールウェイの北西、大西洋に面したカネマラ国立公園として名高い地である。入り組んだ海岸線や湖に囲まれ、荒涼の美、アイルランドの原風景が残る地、といった表現がされる風光明媚な場所である。ここはかつてピートの採掘場所でもあった。一般にアイリッシュウイスキーはスモーキーフレーバーが無いとされるが、その昔のアイリッシュはピーテッド麦芽を使用していたのだ。製品名ピーテッド・シングルモルト「カネマラ」はその懐古を込めて名づけられたものである。子のウイスキーは4年、6年、8年熟成のモルト原酒をブレンド（ヴァッティング）。4年熟成モルトはフレッシュともいえる若々しく勢いのあるピーティーな感覚がある。6年熟成となるとほのかにフルーティーさの華やぎ、バーボン樽由来のバニラ様が感じ取れる。そして8年を経たモルト原酒はバーボン樽由来の甘みがしっかりと感じ取れる。

【味わい】ピーティーさとともにフルーティーな香りが際立つ。味わいはハチミツのような甘さもあり、それがバニラやチョコレートの風味へと変化していく。複雑さがありながらスムーズな口当たり。全体として自然の草や土のフレッシュな印象が残る。

~Blended~

Ireland

ジェムソン スタンダード
Jameson

¥800



創立者はジョン・ジェムソン。ジョンの妻の親戚、スタイン家が経営していたボウ・ストリート蒸溜所(1780年創立)がジェムソンの前身となります。ジョンがこの蒸溜所の経営権を得て、1810年に彼の息子と立ち上げたのがジョン・ジェムソン・アンド・サン・アイリッシュ・ウイスキー社でした。ジェムソンのボトル中央の紋章上部には帆船が描かれているのですが、これはジェムソン家の先祖が海賊と戦い見事に勝利した証としてスコットランド王から授かった紋章です。紋章の下部に書かれた「SINE METU」はラテン語で「我に恐れるものなし」という勇者の言葉。ジェムソンは蒸留を3回行うため、非常に洗練された滑らかさとスッキリとした味わいを楽しめるのが特徴。華やかでフルーティーな香りが漂い、自然で上質な風味を存分に堪能できます。ウイスキーを象徴する琥珀色をさらにクリアにしたような、薄く緑がかった液体の色合いも特徴です。

【味わい】ライトボディでスムーズ。ナッティでオイリー。滑らかな飲み心地。万人向けの味わい。

Canadian Whisky

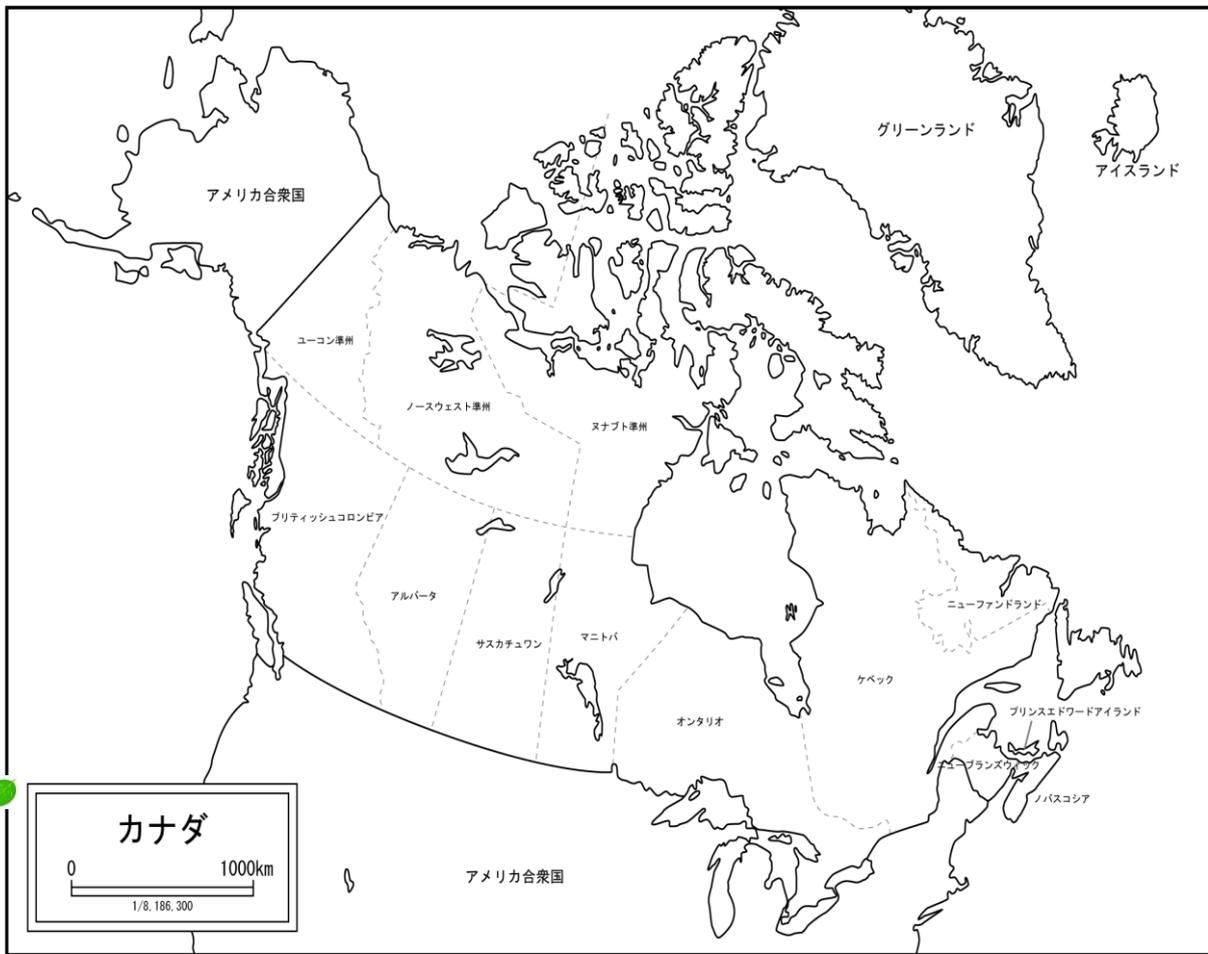
カナディアンウイスキー

【カクテル欠かせない洗練された軽快さ】

カナダのウイスキー造りは、1776年にアメリカが独立宣言をした時期に、独立を嫌った一部イギリス系住民が5大湖周辺に移住し、穀物栽培を始めたのがきっかけ。カナディアンウイスキーは、フレーバリングウイスキーとベースウイスキーに分類され、ほとんどの商品がこの両者を混合したカナディアンブレンドドウイスキー。

5大ウイスキーの中で最も酒質が軽いとされている。

カナダにある蒸留所は、アメリカとの国境近くに多く点在する。



Canadian

~Blended~

Canada

カナディアン クラブ 黒
Canadian Club Black

¥900



「C.C」と親愛の情を込めて呼ばれる、カナディアン・ウイスキーのトップブランド。C.Cの蒸留所は、カナダ・オンタリオ州ウィンザーのデトロイト川河畔にある。対岸には、創業者のハイラム・ウォーカーがもともと食料品店を営んでいたアメリカ・デトロイトの街が見える。アメリカで禁酒法が施行されるのを見越したウォーカーが、この土地に蒸留所を建てたが1856年。総面積、約1.9km²。住宅や警察、消防署までを揃えた街を建設した。

ライ麦、ライ麦麦芽、大麦麦芽を別々に蒸留したベースウイスキーを、樽詰めする前にプレ・ブレンディング。そして、暖房設備のある貯蔵庫で6年以上熟成。このC.Cならではのこだわりが、穏やかな香りと都会的でエレガントな味わいを生み出している。

【味わい】バニラなどの甘味の奥にプラムや柑橘系のフルーツの香り、甘味とともにライ麦特有のピリッとした爽快感。甘辛のバランスが良好。ライトボディ。

American Whisky

アメリカンウイスキー

【バーボンに代表される力強い味わい】

アメリカンウイスキーウイスキーとは、アメリカで造られるウイスキーの総称。様々な種類のウイスキーが造られており、その種類によって原料の比率や蒸留・熟成の方法などが細かく定められている。おさえおきたいアメリカンは、最もポピュラーなバーボンと、現在ジャックダニエルが単独銘柄として世界一の売上を誇るテネシーウイスキー。アメリカンウイスキーの主な産地として知られるのはケンタッキー州とテネシー州。バーボンはどの土地で造ってもバーボンと名乗れるが、95%以上がケンタッキー州で造られている。バーボンの特徴を決定付けたのは、この地方風土に由来する、主原料のトウモロコシや仕込み水のライムストーンウォーター。そして蒸留方法や内側焦がした新樽といった独自の製法が、バーボンらしい力強さを生み出すのだ。



American

～Bourbon～

Kentucky I.Wハーパー ～ゴールドメダル～
I.W HARPER ～GOLD MEDDAL～

¥750



1877年I.W.ハーパーはドイツからのアメリカ移民、アイザック・ウォルフ・バーンハイムの手によって生まれました。

創始者アイザック・ウォルフ・バーンハイム「粗悪なバーボンが幅をきかせていた時代に品質にこだわり、1877年遂に完成したそのバーボンに、彼のイニシャルである「I.W.」と無二の親友フランク・ハーバーの名前を冠し『I.W.ハーパー』と名付けました。

1885年ニューオーリンズの万国博覧会で金賞を受賞。その後も様々な博覧会で金賞を受賞したことからそのメダルを称してゴールドメダルと呼ばれるようになり、1949年にはギフトアイテムとしてクリスタルデカンター入りのI.W.ハーパーを新発売。

以来、毎年新しいデザインの新ボトルを発売し、コレクションの対象品となるほどのブームを巻き起こしました。

1950年代に広告塔として「籐のステッキを持ったシルクハットの紳士」が登場し、都会的で洗練されたイメージを確立。今日までこのイメージが引き継がれています。

【味わい】華やかな香りとお酒の滑らかな口あたりを楽しめるストレートやロックはもちろんのこと、爽やかな飲み口のソーダ割りもお勧めです。

また、フレッシュジュースとソーダ割り、コーラ割りなど、バラエティに富んだ楽しみ方ができます。

Kentucky ウッドフォードリザーブ
WOOD FORD RESERVE

¥1,000



アメリカ、ケンタッキー州のウッドフォード郡にある、ウッドフォードリザーブ蒸溜所。1812年にオールド・オスカー・ベッパース蒸溜所として創業され、現存する最古のバーボン蒸溜所ともいわれています。周囲の土地は石灰岩を多く含んでおり、カルシウム分の多い水「ライムストーン」を得られるのが特徴。もちろん、ウッドフォードリザーブの仕込みにも使用されています。

ライムストーンは、牧草にカルシウム分を多く与える作用が期待でき、骨の丈夫な馬が育つことからサラブレッドの産地としても有名。ウッドフォードリザーブは米国で毎年開催される「ケンタッキーダービー」の公式バーボンにも認定されています。

少量生産のスマールバッチバーボンに分類されており、伝統の製法を守り続ける高級なウイスキーブランドです。

原材料の約72%にトウモロコシを使用し、ライ麦と大麦麦芽を組み合わせるのも特徴。穀物の奥深い芳醇なコクを味わえるのが魅力です。

【味わい】バーボン樽由来のバニラや複数のスパイスの芳香、飲み口は非常に芳醇でスムーズ。ストレートで召し上がるのがお勧め。

Kentucky ミクターズ US★1 スモールバッチ
MICTHER'S US★1 SMALL BATCH

¥1,200



ミクターズ社は1753年に設立された、アメリカ最古の蒸留所。アメリカ独立宣言よりも23年前に創業され、独立戦争時には兵士たちも飲んでいたウイスキーです。

設立当初から「コスト度外視」をモットーとし、品質のためなら高品質な原材料を使用し、手間のかかる製造法を採用していました。

1989年、アメリカのウイスキー業界全体の長引く不況により姿を消しましたが、20数年の時を経てケンタッキー州のルイビルに復活。ミクターズ社のモットーは現在も継承されています。原材料は最高のものを厳選するのはもちろんのこと、貯蔵樽の内面は2段階に分けて焦がし、ウイスキーの風味を深めています。

樽内の原酒は業界基準より低いアルコール度数で貯蔵。より多数の樽が必要となりますが、ボトリング時の加水の割合が減るため、より濃厚な味わいとなります。また、光熱費もかさみ蒸発量も増えますが、熟成庫を加熱し、原酒の熟成を促しています。手間を惜しまず採算も度外視し、品質の高い優美な味わいのバーボンを生み出しています。

【味わい】樽由来の芳醇なバニラの香りに、ストーンフルーツのノート、スモーキーで深みのあるリッチなキャラメルやスパイス、香ばしいオークフレーバーが心地よく広がります。

American

~Bourbon~

Kentucky メーカーズマーク46
Maker's mark 46

¥1,100



「メーカーズマーク」は、230年以上にわたる創業家・サミュエルズ家のウイスキーづくりの伝統とノウハウを結集させ、1959年に誕生したバーボンウイスキーです。「メーカーズマーク 46」は、“インナーステイブ”とよばれる焦がしたフレンチオークの板を、熟成した原酒樽の中に10本沈め、数ヶ月間後熟させました。“インナーステイブ”由来のキャラメルやバニラのスウィートな香味と樽由来の熟成香が絶妙に調和した、厚みのある味わいが特長です。商品名の「46」は、後熟に使われる“インナーステイブ”のオーダー番号※に由来しています。

※“インナーステイブ”の焦がし具合を指定するために樽メーカーに伝える番号のこと。

【味わい】リッチで甘い香り、キャラメル、樽のニュアンス。スウィートとスムーズな厚みのある味わい。キャラメル、バニラ、オーク樽のニュアンスが絶妙に調和。スムーズな余韻が長く続く。

Kentucky ブラントン ブラック
Blanton'n Black

¥1,300



スーパープレミアムバーボン・ブラントンは、1984年、ケンタッキーの州都フランクフォート市の市制200年を記念して誕生した。ケンタッキーにたどり着き、激動の時代を乗り越え、ウェスタンカルチャーを生み出した開拓者たちに心から敬意をこめて、ケンタッキーダービーのダービー馬と騎手をキャップに冠した八面体のボトルに入れられている。ブラントンは、エンシェントエイジ社のディスティラリーに40年間勤め「ディーン・オブ・ケンタッキーニケンタッキーの長老」と呼ばれたバーボンづくりの名人、アルバート・ブラントン大佐の名をとって生まれた。そして、大佐のバーボンづくりの技法を身体にしみ込ませた愛弟子、エルマー・T・リーによって世に出されたのである。今、その巧みな技術は、若きマスター・ディスティラリー、ハーレン・ウィートリーに引き継がれている。ブラントンのボトルキャップは、ケンタッキーダービーのサラブレッド、商品画像を含め8種類のフィギュアを冠しています。グラスを傾けながらそれぞれの名馬の雄姿をお楽しみください。

【味わい】メロンや紅茶、バニラやメープルシロップのようなフルーティーで甘い香り立ち。全体的に甘みが強くなめらかで飲みやすい。苦み・酸味がほんのりと感じられる。甘酸っぱさのあとにスパイシーな余韻が続く

Kentucky ナヴィゲーター バーボン
Navigator

¥1,300



同名のカリフォルニア産の赤ワイン『ナヴィゲーター』の熟成に使ったバレルを使って再熟成をかけたバーボン。トウモロコシ75%、ライ麦21%、麦芽大麦4%。黒果実系の香りをまとった新しいタイプのバーボン。

【味わい】たくさんのスパイス、ダークチェリー、バニラの芳香、すばらしいウイスキーの味わいにまろやかさを与える。

American

~Bourbon~

Kentucky ミクターズ US★1 サワーマッシュ
Michter's US*1 Sour Mash Whiskey

¥1,200



ミクターズ US★1サワーマッシュはサワーマッシュ製法でつくられたバーボンウイスキーとライウイスキーの両方の原酒を使用し、スモールバッチでつくられるアメリカンウイスキーです。2019年にはイギリスの老舗リテラー「ザ・ウイスキー・エクスチェンジ」が2014年から主催するアワード「ウイスキー・オブ・ザ・イヤー」にアメリカンウイスキーとして初めて輝き、世界から最も注目が集まるアメリカンウイスキーとなっています。

【味わい】 香りは温かみのある焦がし砂糖にスパイス、スモークしたフルーツ、砂糖漬けのチェリー、蜂蜜入りのバニラクリームが広がります。口当たりは驚くほどエレガントで、味わいはキャラメルを軸にオーク、蜂蜜、ローストナッツが加わり、フィニッシュにクロープ、ウッドスパイス、ペッパーが現れ、甘くスパイシーな余韻が続きます。バーボンウイスキーのキャラメル系の甘やかな味わいから始まり、徐々にライウイスキーのスパイシーな味わいへと変化する世界一に輝いたアメリカンウイスキーの味わいをぜひこの機会にお楽しみください。
